=令和2年度竜王小学校だより=





令和3年1月21日 No.41 校長 小尾 一彦

オンライン授業で裁判所の学習&模擬裁判~6年生~

1月14日(木)の2校時に6年生は、オンラインで裁判所の学習をしました。本来は、社会科見学で甲府裁判所に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で見学できなということで、オンラインで行いました。2人の事務官が裁判所の仕組みを裁判所の中から説明をしてくれました。そのあと、クラスごとに質問をして答えてもらいました。話を聞き洩らさないようにメモをとる姿、画面を食い入るように見つめる姿、いつもながら6年生の集中した態度に感心しました。









そして、15日(金)の5校時。学習の続きとして模擬裁判を行いました。模擬裁判を行うにあたっては、 事前に裁判所からシナリオをいただいていました。裁判官、検察官、弁護士、証人、裁判員など、それぞれ の役に子どもたちがなりました。注目の被告は・・・先生でした。先生たちの迫真の演技が素晴らしかった です。子どもたちも難しい言葉もあったと思いますが、テレビの場面を見るような真剣な裁判のシーンでし た。・・・クラスごとではなく、クラスを3つに分けて3会場に分かれて行いました。

判決についてはシナリオがあるのではなく、証人や被告人、検察官の話をもとに、無罪か有罪かを理由をつけて決めました。しっかりとした根拠がなければ判決が出せないというのは、いいシナリオだなと思いました。

ちなみに、3つの模擬裁判所で行われた判決は、有罪 1、無罪2でした。同じ設定なのに判決が分かれました。 裁判の設定は、電気店に被告が行き、ゲームソフトを盗もうとして、それを見つけた店長を階段から突き飛ばしてけがをさせたというものでした。その事件に対して、証人や被告人に弁護人や検察官が質問をするという設定でした。









今回のオンラインでの裁判所見学も、模擬裁判も今年だからできた授業のあり方の一つでした。そして、コロナ禍でなくてもできる今後の学習スタイルだと思います。・・・これまで5・6年生は、何回かオンラインの授業に取り組んできました。そこで感じたことは、どんなに環境(パソコン、アプリ、ソフト、大型画面等のICT環境)が整っていても、内容が伴わないと宝の持ち腐れということです。なぜ、ICTが有効なのか、そんな実践を5・6年生の子どもたちが意欲的に学習に取り組む姿から感じました。子どもたちも素晴らしいですが、5・6年生の担任の先生方にも大きな拍手です!









■ 竜王中学校の先生による出前授業!~6年生~

1月19日(火)の1・2校時に、6年生は竜王中学校の先生方による出前授業を行いました。クラスごとに数学と英語、社会の授業を受けました。中学校の教頭先生からは、中学校に向けての心構えについて、話をしていただきました。6年生はドキドキワクワクしながらも、とてもいい雰囲気の中で授業が行われました。









■ 公開授業研究会(1月29日)に向けてがんばっています!

1月29日(金)にICT活用&プログラミング学習の公開授業研究会が本校で開催されます。2年生は図工のゲームづくり、3年生は総合で「やはたいも」の情報発信、6年生は保健・総合で感染症予防、それぞれの学習を進める中で、プログラミング的思考の向上を図る授業を行います。どの学年も意欲的に学習に取り組んでいます。







■ 3学期の代表委員任命式を行いました!

1月19日(火)の昼休みに体育館で、3学期の代表委員の任命式を行いました。校長先生から3年生以上の代表委員一人ひとりに激励状が渡されました。学年のまとめとなる3学期です。クラスのリーダーとし

てがんばってほしいです。代表委員のみなさんの待つ態度や 聞く態度に感心しました。任命式の様子は「たつのこちゃん ねる」で放送されました。







■ 教育実習生が来ました!

1月18日(月)から、矢崎 美里さんが 本校で教育実習を行っています。3年2組に 所属しますが、いろいろな学年の授業を観察 したり、子どもたちと交流したりしていきます。3週間という短い期間ですが、将来に役に立つ実習になってほしいと思います。



